

議決事項

件名	提案理由	審議の状況	採決の次第
報告第24号 平成28年度垂水市一般会計補正予算（第6号）案についての市長への意見申出について	平成28年度垂水市一般会計補正予算（第6号）案の作成について、教育長の臨時代理により決定したこと、及びその内容について報告するものである。	特記事項なし	
議案第17号 平成28年度社会教育功労者の決定について	垂水市社会教育関係表彰規程に基づき、平成28年度社会教育功労者を決定するものである。	特記事項なし	承認

平成28年度第8回教育委員会定例会出席者

日時及び場所	出席者	
<p>平成28年11月17日（木）</p> <p>午後1時56分</p> <p>↓</p> <p>午後4時19分</p> <p>第2研修室</p>	<p>教育長 長濱 重光</p> <p>教育委員 野村 繼治</p> <p>教育委員 田原 正人</p> <p>教育委員 中谷 いつみ</p> <p>教育委員 葛迫 幸平</p>	<p>教育総務課長 池松 烈</p> <p>学校教育課長 下江 嘉誉</p> <p>社会教育課長 野嶋 正人</p>

会 議 要 旨

1 開 会

定刻、定足数に達しており、平成28年度第8回教育委員会定例会を開会した。
議案第17号は非公開で審議する旨、教育長から発議があり、全会一致で議決された。

2 平成28年度第7回定例会会議録の承認

承認

3 議 事

報告第24号 平成28年度垂水市一般会計補正予算（第6号）案についての市長への
意見申出について
議案第17号 平成28年度社会教育功労者の決定について

4 その他

- (1) 垂水市教育支援委員会の答申内容の決定について
- (2) 奨学資金制度の在り方について

5 委員並びに教育長及び課長報告

6 閉 会

議事内容等

<p>3 議 事</p> <p>教育長</p>	<p>報告第 24 号 平成 28 年度垂水市一般会計補正予算（第 6 号）案についての市長への意見申出について 補正予算案の作成について、教育長の臨時代理により差し支えない旨回答したこと、及びその内容について報告した。</p> <p>6号補正については、台風被害からの早期の復旧ということで、議会前に専決で処分され、それぞれの復旧にあたっている。</p> <p>議案第 37 号 平成 28 年度社会教育功労者の決定について （非公開）</p>
<p>4 その他</p> <p>学校教育課長</p> <p>学校教育課長</p> <p>野村委員</p> <p>学校教育課長</p> <p>葛迫委員</p> <p>学校教育課長</p> <p>野村委員</p> <p>葛迫委員</p> <p>野村委員</p>	<p>(1) 垂水市教育支援委員会の答申内容の決定について 垂水市教育支援委員会の答申内容の決定について説明 （非公開）</p> <p>(2) 奨学資金制度の在り方について 奨学資金制度の在り方について説明</p> <p>住んでいるということは、住民票があればいいのか。</p> <p>住民票と、実態として居住を確認する。実態調査等を規則で定めていく。</p> <p>高校を卒業して、1年後となると、大学進学者は働いてないわけだが、免除とかはあるのか。</p> <p>高校生が大学進学すれば、払えないことから、猶予をする。7年間高校で勉強をして、卒業後1年猶予し、8年目から高校と大学の分を払っていただく。</p> <p>高校を卒業して、1年してから「やっぱり大学に行く。」ということもよくあるパターンなので、猶予をしてやらないと負担加重になる。</p> <p>8年間高校の7,500円と大学の15,000円を合わせて毎月払っていくということではいか。</p> <p>病気になって払えないので、猶予願いを出して、払うのを延期してもらい、元気になってからしっかり払っていくというのもある。減額はなく、延期してもらおうという考え方でよいのではないか。</p>

学校教育課長	規則の中で猶予規定がある。心身に著しい障害等がある場合は免除規定もある。ただ、猶予することもできると謳ってあるので、上級学校に行く場合や、心身に障害があつて入院する場合は猶予することができる。
教育長	高校と大学とも借りた場合、198万円払わないといけない。ただ、市長が目指している人口増を図るには、何か新しい手を打たないと人口増は図れない。そういう一環と全国的に言われている貧困対策にもなる。県内では長島町の「ぶり奨学金」がある。
学校教育課長	長島町の「ぶり奨学金」は、相互信用金庫で教育ローンを組みお金を借り、長島町に帰ってきたら、返還は町がしてくれる。ただ、返せるか返せないかは銀行が判断するので、その過程で、貸し出す金額が変わってくることもあると思われる。
野村委員	ぶり奨学金の場合は、銀行だから利息が生じるが、その利息はどうなるのか。
学校教育課長	全員の利息は町が払ってくれる。帰ってきたら、元金はもちろん利息も町が払ってくれる。
教育長	高校生は5,000円上げるが、15,000円以内ということで選択制にする。事務の負担はでてくるが。
5 委員並びに教育長及び課長報告	委員並びに教育長及び課長報告
教育長	教育委員並びに教育長及び各課長報告に入る。
野村委員	<p>1. 「牛根小学校運動会について」</p> <p>11月3日牛根小学校の運動会に参加した。台風16号のため、学校周辺の民家が床上浸水し、学校敷地にも大量の土砂が流れ込むという災禍のため延期になっていた校区合同の運動会であった。泥に埋もれていた運動場も見違えるように綺麗になっていた。校長も、「地域の皆様のお陰です。」と感謝されていた。</p> <p>ちょうど100回目を記念する運動会ということで、地域の方々の盛り上がりも大変なものであった。午前中最後のプログラムは、子供達や地域の人達が全て参加して、150人ほどで、「100」の人文字を校庭に作り、100周年の節目を祝った。私も参加したが、共同体としての地域の皆様の善意と人々の熱意にただただ有難く感謝するばかりであった。</p> <p>2. 「垂水市民文化祭について」</p> <p>11月5日から6日の開催だった垂水市民文化祭に参加した。6日午前中は舞台発表を鑑賞し、午後は展示部門をゆっくり観た。例年より作品が増</p>

えているように感じた。完成度の高い作品も多く見られ、足を止めてしばらく見入る作品もあった。出品者一人一人の努力精進の結果であろうと思われ、頭の下がる思いがした。市内各学校の作品展示もよく工夫されていたのではと思った。各学校各学年ごとに区分された掲示で、大変見やすく印象的だった。また、貝殻、昆虫、植物、岩石等の採集標本は、作品出品がちょっと少ないような気がした。

3年ぶりに池坊の先生のお手前をいただいた。あのような茶席で飲むお茶はまた格別なものであった。花やお茶の道で若い後進の人達を懸命に育てていらっしゃる姿に、ありがたいことだと感謝する次第であった。

田原委員

1. 「市陸上記録会について」

10月26日市陸上記録会に参加した。天気が良いすぎて、日差しが強く、気温も高かったので、長距離走の子供達は少ししんどかったと思う。

新記録は出なかったが、それぞれの種目でよく頑張っていたと思う。

垂水の子供達で選手種目でない競技に出ている子供達へ、全力で走り抜く指導が必要である。

2. 「県市町村教育委員会連絡協議会研修会・講演会について」

11月8日県市町村教育委員会連絡協議会研修会・講演会に出席した。菊池義務教育課長の話で、自分は教師になりたかったと言われるだけに、教育への思いは熱く、「鹿児島の子供達は後一問できたら、秋田を抜く位置にある。学力向上は、過去問を繰り返しやることも大事だろうが、一人一人の子供達が授業を通して、どう関わって課題解決に向けた取り組みをしていくかといった授業の改善こそが本道であろう。」という考え方は、大いに共感できる場所であった。

増田クリニックの増田医師（心療内科）の「睡眠不足とネット・ゲーム・スマホから脳を守る」では、

○日本人は、子供も大人ももともと睡眠時間が短い。

○子供にとって睡眠は、脳の働きを育て（海馬を大きくし賢くする）、脳の働きを守る時間だ。

○ネット・ゲームはパチンコ、アルコール、覚醒剤と同じように、喜び、興奮、快感の刺激が強すぎて、ドーパミンが一気に分泌されて、同じ行動を繰り返す（依存性が強い）。

○ネット・ゲーム依存から、睡眠不足を招き、生活リズムの乱れが生じ、不登校になる子供が多い。

○ネット・ゲーム・スマホ依存症は、外来継続治療は難しい。

などの報告があった。

3. 「水之上小学習発表会について」

11月12日に水之上小学習発表会に参加した。小学1年生は12名と多く、歌や劇に精一杯取り組んでいて、元気があり、その成長に驚かされた。

高学年では、歴史の学習をコントやクイズ風に提示して、観客と一緒に楽しめるように工夫していた。

全体的には、舞台発表のリハーサルの時間をもう少し取って、丁寧に発表したら、もっと良かったのにと感想である。

4. 「横浜市のいじめによる不登校になった事件について」

昨日の新聞に非常に辛い記事が載っていた。福島原発事故で、小2で自主避難した児童が、いじめを受け、ばい菌扱いにされた。小5では、賠償金をもらっているだろうと、同級生に遊興費を払わされた。不登校にもなった。

学校に何度も訴えたが、対応してもらえなかった。先生が信用してくれなかった。全国には、福島の子供がいっぱいいると思う。こんな事を受けていないか、振り返る事が大事だ。本市では、熊本の子供を松ヶ崎小学校が受け入れて、大変大事にしてくれた。「もっと居たい。」という感想を聞いたが、あれが本当だ。こんな事がないように、私達もアンテナを高くはって見ていかなければならないと思う。

中谷委員

たくさんの研修会に参加させていただいた。11月8日県市町村教育委員会連絡協議会研修会・講演会に出席した時は、4名一緒に食事をして親睦を深めたが、お互いをもっと知り合うということは大変大事なことだと思った。

1. 「柘原小学校訪問について」

11月2日柘原小学校が、私達校区住民8名を学校に招待してくださり、授業参観をし、給食をいただいた。6学年3学級を皆さんと回った。授業を受ける子供達は、日頃のパトロールや行事応援等で、大人達とすっかり顔なじみだ。地域あつての学校なので、今回は、交流の恩返し、招待とのことだった。参観は、それぞれがご自分の興味のある授業に参加し、より子供達に歩み寄られ、「こうしたらいいよ。」と、にこにここと伝授されておられた。その光景は微笑ましくて、あたたかい心を育てていただいていると感謝する事だった。子供達が大きくなるまで、地域の見守りがどれだけ必要で大事な事か、その実践の实在を見ることができた。

なお、この記事が昨日の南日本新聞に掲載された。

2. 「垂水市長と女性の懇談会について」

11月2日の夜に柘原公民館において、垂水市長と女性との話し合いがもたれた。少人数で、より深く市長さんと語ろうと計画されており、柘原住民女性12名程が集まった。かかえている問題は、健康であり続けたいための行政の対策と、ゴミの出し方、小学生のための公園がないので作ってほしい点と、いつまで小学校が地域に残るか知りたい点だった。将来、孫が柘原小にでてもらいたいが、今の人数では子供達がかわいそうであると、複式学級の経験のない保護者のOGが話された。とにかく子供は大勢の中で育った方が良いとのことで、早く一つの大きな学校になってほしいとの意見だった。

私は、複式学級の良さと、教育委員会のたくさんの取り組みを皆さんにお知らせした。本当の事を知らないで、頭ごなしに複式が悪いという一方的な意見に、教育委員会の説明と周知をもっと深くされないといけないと思った。

葛迫委員	<p>1. 「都城市立美術館 和田英作展開会式及び内覧会について」</p> <p>10月21日に都城市立美術館で開催されている「和田英作展」の開会式及び内覧会に出席してきた。都城市立美術館ということで、垂水市からも市長、縁故関係の方々も出席されていた。和田英作は垂水市出身の偉大な洋画家として、明治から大正、昭和の時代を通して日本洋画壇の重鎮として頑張ってきた。富士山や薔薇など、情感豊かに描いた画家として周知されている。</p> <p>今回の展覧会は、平成10年の鹿児島市立美術館で開催された「和田英作展」から18年ぶりの故郷での展覧会ですが、都城市立美術館は鹿児島市立美術館と違ってとてもコンパクトな造りと成っていることで、今回の「和田英作展」はとてもマッチしているなと感じた。今回の展示作品には、サイズ的に大きな作品があまり展示されていなかったことで窮屈感がなかった。コンパクトないい展示会だったと思った。</p> <p>2. 「垂水市民文化祭、垂水中央中学校文化祭について」</p> <p>11月5、6日垂水市民文化祭、13日垂水中央中学校文化祭に参加した。垂水市は今年、台風16号の影響で市全体が弱り、運動会や祭り、催し物の催事が中止になってしまった。この時期にこの二つの文化祭が市民に大きな元気を与えてくれたなと思う。</p> <p>祭りは、古来から豊穡に「感謝」する、そして「祈る」ことから、こういう時にこそ必要だという想いだ。自然に対して敬う心、祈る心、そのことを形にすることが必要だと感じた。</p>
教育長	<p>1. 「白鳥バレエ団公演鑑賞について」</p> <p>11月8日白鳥バレエ団公演の御案内をいただき、市民文化ホールで鑑賞してきた。2年前、本市では、夢教室で白鳥バレエ団にお越しいたいただき、小中学生に鑑賞してもらった。7時からの開演だったが、小中学生が保護者と一緒に来ていたが、本市からは小中学生は誰一人来ている訳ではない。そういうのを見たときに、やはり年1回でも垂水の子供達に夢教室をして、本物、一流の物を見せることの大切さというものを、改めて実感した。今後とも事業を継続していかなければいけないと思った。</p>
教育総務課長 学校教育課長 社会教育課長	<p>10月8日から11月17日までの主な行事等について報告。併せて、12月12日までの予定についてお知らせした。</p>
6 閉 会	